



ガルシア・マルケス『百年の孤独』を読む

1月16日
開催！

コロンビアの作家ガルシア・マルケスの代表作『百年の孤独』（1967）。カリブ世界のマコンドという小さな町に住み着いたブエンディアーア家の人々の物語は、ラテンアメリカの辿ってきた過酷な歴史や社会の縮図でありつつも、他者との良好な関係を模索しながら常にそれが破綻して様々な角度から孤独に居ついてしまう人々を描き、世代や地域を越えた文学的共感をもたらし続けています。邦訳が文庫化された名作を一緒に読んでみませんか。

松本 健二（大阪大学大学院 人文学研究科 外国学専攻 教授）

専門はスペイン語圏現代文学。チリやメキシコ等ラテンアメリカ現役世代の最新小説の翻訳も手掛けている。



会場は大阪大学
箕面キャンパス
です！

【日時】 2025年1月16日（木）19:00-20:00

【場所】 大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10 またはオンライン

【お申込】 下記URLまたは右記QRコードから参加登録。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-nPPeHK3SqC1rYY516Uyqg

登録時に受信したメールに記載のURLからご参加ください。
※対面参加はお申込み不要です。電話等では受付を行っていません。

【お問合せ】 大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

【参加費】 無料

マンスリー 多文化サロン



👉 登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター